

(3) 三津湾ヘルシープラン(仮称)の作成について

1. 作成方針

(1) 三津湾ヘルシープラン（仮称）作成の基本方針

三津湾の現状と課題（平成23、24年度に把握）：

三津湾では、全域に及び顕著な不健全化や、その要因となる物質循環の滞りは確認されていない。しかし、カキ養殖筏周辺では局所的な底質の悪化が確認されているほか、栄養塩の湾外への流失等により、マガキの成長に必要な餌料が不足している可能性が示唆されている。



三津湾ヘルシープラン（仮称）の基本方針（平成25年度で策定）：

三津湾では、現在の比較的良好な環境を維持し、再生産可能な生物資源を生み出す海の仕組みが十分に機能している状態（＝ヘルシーな状態）を維持するために必要な対策を軸とした「三津湾ヘルシープラン（仮称）」を策定する。

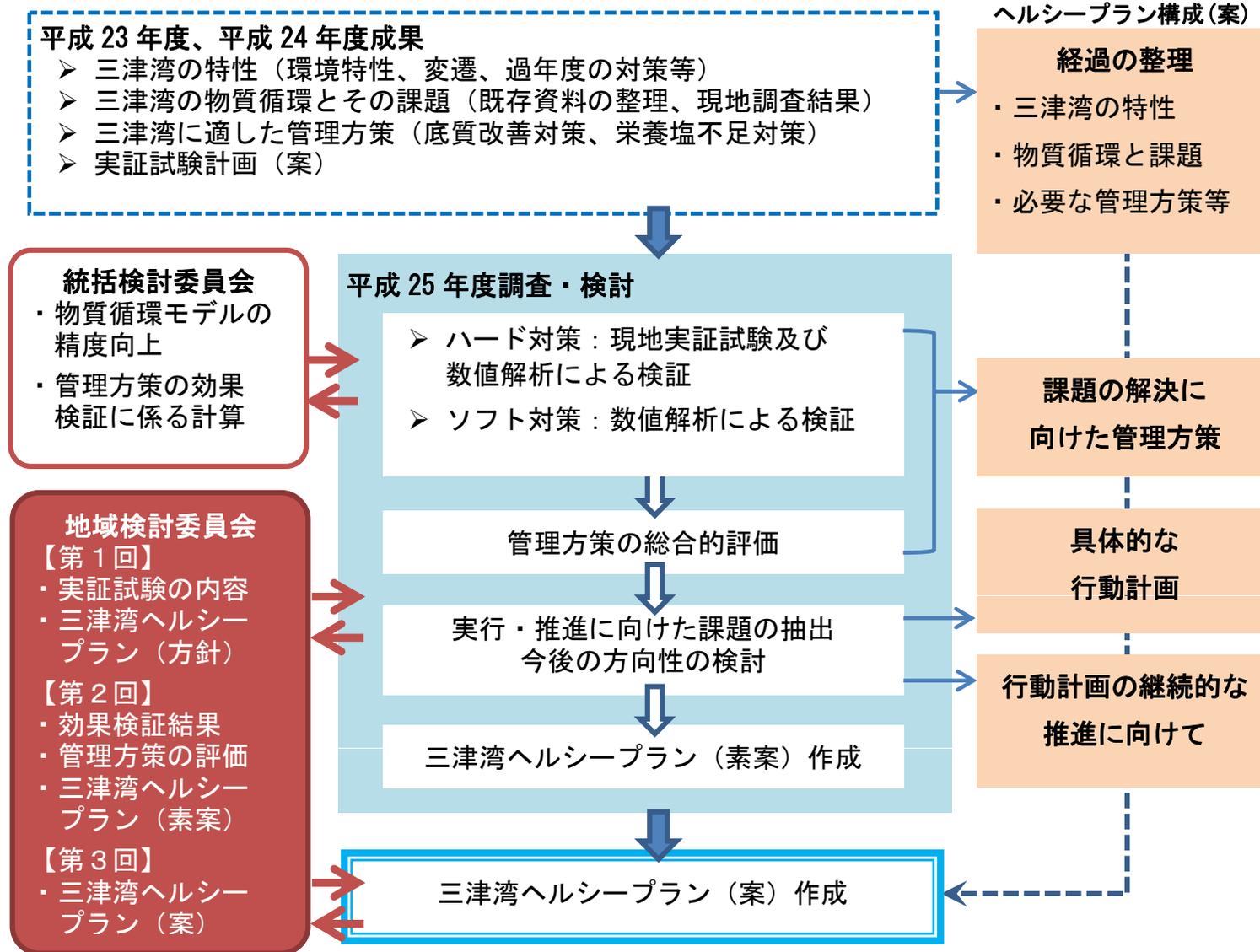


対策の基本方針（平成24年度に決定）：

三津湾の海域利用と連携した底質環境の改善と基礎生産力の向上による物質循環健全化

1. 作成方針

(2) 作成作業のフロー



2. 三津湾ヘルシープラン（仮称）の構成イメージ

1. ヘルシープラン策定の背景と目的

2. 三津湾地域の特性

- ▽環境特性（自然環境、社会環境）と変遷
- ▽過去及び現在に実施されている環境改善対策 等

3. 三津湾地域の物質循環と課題

- ▽物質循環の解明
- ▽物質循環における課題の抽出
- ▽課題の要因分析 等

4. 三津湾地域の目指す姿

5. 管理方策策定のプロセス

- ▽現状の解析
- ▽目標の設定
- ▽対策の絞り込み
- ▽対策の効果検証 等

6. 物質循環健全化に向けた管理方策と行動計画

▽管理方策

- ・方法
- ・対象範囲
- ・実施時期 等

▽行動計画

- ・関係する主体毎の役割
- ・取り組み方針
- ・モニタリング手法 等

7. 継続的な推進に向けて

- ▽順応的管理の考え方
- ▽行動計画の実行に向けた課題 等

資料編

- ▽地域特性に関わる資料
- ▽現地調査結果
- ▽地域の物質循環に係る資料
- ▽対策に係る資料
- ▽物質循環モデルに関する資料 等